

Anthony Gallo Reference

取扱説明書

この度は Anthony Gallo Acoustics の Reference (リファレンス・スリー)をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。

Reference はオーディオファンを意識した設計になっています。このエレガントなモデルは、アンソニーギャロが最初にデザインした、Nucleus Solo と Nucleus Reference をもとに作られました。

Reference は DVD オーディオやスーパーオーディオ CD などの高解像度のフォーマットを再生するために設計されました。Reference は非常に広帯域の周波数を再生します。特に 125Hz ~ 50Khz の帯域では、クロスオーバーネットワークを持たない為、鮮度の高い再生が魅力です。又、広い指向性により(300 度)豊かなサウンドステージと広いリスニングエリアが得られます。

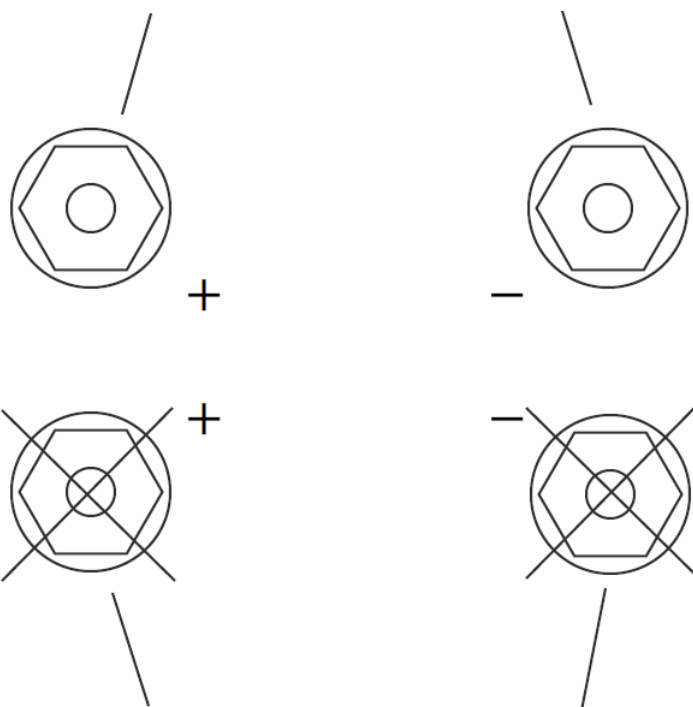
この取扱説明書をご覧になり、Reference を正しく設置してください。アンソニーギャロの製品に関して何かご不明な点がありましたら、弊社までお問い合わせください。お客様の貴重なご意見をお待ちしております。

必ずお読みください

ケーブル接続時の注意！

Reference III の2組あるスピーカー端子のうち、下段のスピーカー端子は現在使用することが出来ませんので、決してアンプと接続しないでください。

スピーカーケーブルは上段の端子に接続してください



Reference III SAアンプ専用端子です。
通常のパワーアンプは接続しないでください。

システムのセットアップ・操作

開梱

Reference を箱から取り出す際は 2 人で作業することをおすすめします。箱からゆっくり取り出してください。

箱と梱包パッケージは今後の持ち運びのために保管しておいてください。

高さ調節可能なコーンフィート

Reference の側面を下にして、ゆっくり寝かせ、付属のコーンフィートを取り付けてください。長いものをフロントに、短いものをリアに取り付けてください。この際、ネジを傷めないよう気をつけてください。

コーンを取り付けたら、スピーカーを立たせてください。スピーカーを動かす際は十分に注意してください。リアのレバー(バー)と底板(ボトムプレート)を持って持ち上げてください。コーンに重心をかけて持ち上げないでください。

接続について

注意: 設置に取りかかる前に、オーディオシステムの電源を全て**オフ**にしてください。

ステレオ用設置

Reference は裸のワイヤーコードやバナナジャック、Y字のコネクターなどつなぐことができます。2組のスピーカーコネクターは“バイワイヤー”用コネクターだと間違いやすいですが、“バイワイヤー”用ものではありません。“Speaker In”(スピーカー入力)と書いてある上の2つのスピーカーコネクターは Reference のウーファー、ミッドレンジ、トゥイーターへの通常の“フルレンジ”接続用です。

下の“Sub In”(サブ入力)と書いてある差込みには、通常ケーブルは接続しません。

この差込みは、オプション品の Reference SA パワーアンプにつなぐように設計されています。この SA アンプはお持ちのメインアンプとは別に働き、フルサイズのサブウーファーを搭載した時と同じレンジまで飛躍的に深みある Reference の低音再生を高めます。SA アンプにより、低音再生周波数は 22Hzまで到達します。

ケーブル接続の際は、お持ちのレシーバー / アンプの、+ / - のスピーカー接続の差込みをよく確かめてください。

全ての接続が + から + (赤から赤)そして、- から - (黒から黒)であることを確認してくだ

さい。

間違った接続をされると、低音再生に影響を及ぼします。

ホームシアター用設置

次にご紹介する設置方法は前項目までの設置方法とさほど変わりません。お持ちのレシーバー / プリのスピーカーセットアップメニューを参照にして、左右のフロントスピーカーには"Large"を選んでください。

Reference はそのスピーカー自体で十分な低音を再生できるように作られています。

Reference のスピーカーコネクタは裸のワイヤーコードやバナナジャック、Y 字のコネクタなどと繋ぐことができます。2つの差込み(コネクタ)セットは"バイワイヤー"の差込みだと間違いやすいですが、"バイワイヤー"のものではありません。"Speaker In"(スピーカー入力)と書いてある上の2つの差込み(コネクタ)は Reference のウーファー、ミッドレンジ、トゥイーターへの"フルレンジ"接続をします。(ステレオ用設置と同じ)

下の"Sub In"(サブ入力)と書いてある差込みには、Reference のウーファースのセカンダリーボイスコイルを接続します。この差込みは、オプション品の Reference SA パワーアンプからの電力を取り込むように設計されています。この SA アンプはお持ちのメインアンプとは別に働き、フルサイズのサブウーファーを搭載した時と同じレンジまで飛躍的に深みある Reference の低音再生を高めます。SA アンプにより、22Hzまで到達します。(ステレオ用設置と同じ)

ケーブル接続の際は、お持ちのレシーバー / アンプの、+ / - のスピーカー接続の差込みをよく確かめてください。全ての接続が + から + (赤から赤)そして、- から - (黒から黒)であることを確認してください。間違った接続をされると、低音再生に影響を及ぼします。

設置について

スピーカーのエージングについて

今お持ちの Reference が再生能力を最大限に発揮するには、少し時間が必要です。箱から出してすぐは非常にいい音を奏でますが、数時間後には高域の音が少し出にくくなります。でも心配は無用です。また徐々に再生周波数の幅が広がってきます。その時間を短くするには、外出時に大音量で、ラジオまたはCDを鳴らし続けておくことです。100時間ほど鳴らし続けた後には、高音と低音の音域の伸びに気づくことでしょう。スピーカーを固定位置に設置する前に、エージングを済ませることをお勧めします。

設置位置について

Reference は左右対称(鏡像)のペアですので、それぞれのウーファーが外側、壁を向いているような設置方法、あるいは、右と左のスピーカーを逆にして、ウーファーが内側を向いているような設置方法の2つが可能ですが、Anthony Gallo では、ウーファーが外向きになる方法から始めることをおすすめします。部屋によっても、音の再生が変わりますので、両方の配置を試してみるのが無難でしょう。低音のさまざまな音色を鳴らして、どちらの配置がなめらかで、深みのある低音再生をするか確かめてみてください。スピーカーの間に、大型の家具や大型リアプロジェクションテレビ(投影型テレビ)がある場合は、必ずウーファーが外向きになるよう配置してください。

音量について

Reference は相当量の出力に対応できますが、非常に高いレベルで音楽を再生したり、ホームシアターで鑑賞したりした際に、破裂音や歪みが出る場合があります。その場合には、すぐにボリュームを下げてください。

グリルの取り外し方

グリルは、グリルのリア部分の締め金から3つのねじをはずすと取り外すことができます。付属の六角レンチを使えば簡単に取り外せます。下のねじから上のねじに向かってはずしてください。全てのねじをはずしたら、細心の注意を払って上方へグリルを取り外してください。鉄製のグリルは非常に頑丈であるため、指を挟んだり、スピーカー本体にキズをつけない様、十分にご注意ください。

部屋のインテリアによっては、Reference を壁に近づけて設置したいとお考えの方もいらっしゃると思いますが、

スピーカーを 30cm ~ 100cm ぐらい壁から離すと、音がさらに広がります。壁に対して垂直に置く方法と、少し内側に向けて置く方法があります。内側に向けてるとステレオイメージがよりはっきりし、緻密になり、中低音も明瞭になります。

3つ目の方法は、音を上方へ行くように上向きに傾けておく方法です。しかし、この方法は、トゥイーターがきちんと座っているリスナーの耳の位置を向くように、コーンなどを使い傾斜の角度を調節することが必要です。コーンの調節ができたなら4個のうち3個のコーンはぐらつかないことを確かめて、ナットをきつく締め、コーンを固定してください。

注意: Reference は防磁になっていませんので、ブラウン管のテレビの横に設置される場合は、30cm ぐらい離してください。

Reference の主な仕様

再生周波数	: 34Hz ~ 50kHz, ±3dB
インピーダンス	: 8Ω
感度	: 88dB/1W
最大出力(連続)	: 350W
トゥイーター	: CDT 搭載 3kHz ~ 50kHz, 指向範囲 300度
ミッドレンジ	: 10cm カーボンファイバー x 2
ウーファー	: カスタムメイド 25cm デュアルボイスコイルウーファー
サイズ	: H965 x W203mm x D455mm (スパイク・スパイクマウント取説け時)
重量	: 25Kg
カラー	: スピーカー本体 / マットブラック、ステンレス : ベース部 / ブラックメープル、ナチュラルチェリー、ナチュラルメープル

Gallo 製品の制限付き保証について**-保証について-**

ご購入日から、2年間にわたり製品の無料保証、またその後3年間パーツ無償にての修理(修理代のみ頂戴いたします)を販売店を通じて保証致します(サブウーファー内蔵アンプ等のエレクトロニクス製品は2年保証)。お買い上げ日の入った領収証と保証書を大切に保管下さい。詳しくは保証書をご覧ください。

以下の場合には保証の対象にはなりません。

- 1) ご使用上の誤り、お買上げ後の輸送、移動、落下などによる損傷、自然災害などによる損傷
- 2) シリアル番号が変更されている、もしくは無い場合
- 3) 取扱説明書、保証書に記載されている範囲外の操作が行われた場合
- 4) 不当な修理や改造を行った場合

All other warranties, express, implied or statutory, including but not limited to warranties of merchantability or fitness, and all other obligations or liabilities of Anthony Gallo Acoustics are limited in time to the period of warranty granted hereby.

輸入総代理店

フューレンコーディネート

0120-004884